

講義名	専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	桑原 桃音	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	SEM240

主題と概要

1年生での基礎的な学修を受けて、2年生前期では大学の専門的な学修に向けての基礎を築くための演習を行います。
この専門基礎演習は、心理社会学科教員が担当します。心理学関連領域や社会学関連領域のなかで具体的なテーマを設定し、それについて調べ(文献を読み、情報を集める)、議論をし、発表し、レポートを作成する方法を学びます。これらの方法は、大学における専門的な学修を進めるうえで必要なものです。また、研究演習 で専門的な学びをするうえでも必要なものです。従って、必ず履修していただきたい科目となります。
演習で扱うテーマは演習担当者によって違いますが、どの演習クラスに所属しても「テーマについて調べ、議論し、発表し、レポートを作成する」力を身につける点で共通しています。演習の内容は、授業計画を参考にしてください。また、内容の詳細については、初回授業時に担当者から説明がありますので、よく理解したうえで受講をしてください。

到達目標

- ・自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができる。
- ・文献講読、情報収集、調査、レポート作成、発表(プレゼンテーション)などの学習方法を身に付けることができる。
- ・自らの志望に従って、研究演習Iの選択を適切に行うことができる。
- ・自己の将来について考えることができる。

提出課題

ワークシート、パワーポイント、レポート、レジュメを、時にはグループで作成し、発表、提出してもらいます。この積み重ねで培った力で、最終レポートを提出してもらいます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

発表のときは後ろの場でフィードバックします。
提出した課題ワークシートや小テスト(学習管理システム)は次の週以降に回答します。
学籍記録シートや授業時に受けた質問は次週にお答えします。

評価の基準

平常点、中間期、期末期のさまざまな課題によって、総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

この演習は、2年後期から始まる「研究演習I(研究演習I・研究演習II・卒業研究)」の準備演習となるものです。専門的内容とともに、演習で必要となる基礎的な方法を学びますので、是非とも履修し、今後の研究活動に備えてください。

教科書

テキストや参考文献については、クラスを担当する教員から案内がありますので、指示に従ってください。

参考図書

その他

テキストや参考文献については、クラスを担当する教員から案内がありますので、指示に従ってください。

授業計画

- 第1回 専門基礎演習のクラスとテーマについての説明
授業計画の詳細な説明
復習：説明されたクラスのテーマについて調べる(240分)
- 第2回 資料：探す、読む 実践&グループワーク等
予復習内容：1
予習：前回の授業で説明のあった内容について調べたり、まとめたりする(120分)
復習：授業内で指示のあった内容について調べたり、まとめたりする(120分)
- 第3回 新聞記事を紹介しよう：クリティカル・シンキングを知る、実践&グループディスカッション | 予復習 1の内容と同じ
- 第4回(5月12日) 心理社会学科研究演習合同ガイダンス1
予習：心理社会学科教員の担当している研究演習 の説明(シラバスや大学hp)を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく(120分)
復習：ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる(120分)
- 第5回(5月19日) 心理社会学科研究演習合同ガイダンス2
予習：心理社会学科教員の担当している研究演習 の説明(シラバスや大学hp)を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく(120分)
復習：ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる(120分)
- 第6回 テーマに基づいた報告、発表、ディスカッション等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第7回 図書館ガイダンス | 予復習 1の内容と同じ
- 第8回 本を読む：テーマに基づいたワークシート作成とグループワーク等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第9回 レジュメ作成とクリティカルシンキング：実践、ディスカッション等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第10回 テーマに基づいたグループワーク、発表、ディスカッションやレポート作成等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第11回 テーマに基づいたグループワーク、発表、ディスカッションやレポート作成等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第12回 テーマに基づいたグループワーク、発表、ディスカッションやレポート作成等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第13回 テーマに基づいたグループワーク、発表、ディスカッションやレポート作成等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第14回 テーマに基づいた、発表、ディスカッションやレポート作成等 | 予復習 1の内容と同じ
- 第15回 まとめ | 予復習 1の内容と同じ
- 注1) 第4回と第5回では複数クラス合同で研究演習ガイダンスを予定しています。スケジュールの都合上開催回が前後する可能性があります。詳細は、授業内で担当教員から説明があります。
- 注2) 演習の進め方はその時のみなさんの状況によって考えますが、基本的にアカデミック・スキルを伸ばすための内容で進めていきます。また、各回の内容(予習・復習も含む)についても、担当者によって異なりますので、授業内の説明をよく聞いてください。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。
社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会共創・産学連携、インターンシップなどで現実社会との視点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創出することができる。
人間の精神機能と心理学の研究方法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。 コミュニケーション能力と、消費者と援助を求める人の心理と行動の知識を有し、ビジネス場面と援助場面で心理学を応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

各演習内で指示、説明をしますので、注意深く説明を聞き、指示に従ってください。

実務経験の有無及び活用

備考
